

本号の主な内容

- 2 面 【解説】建設業法施行規則等の改正の概要
経営事項審査などについて
- 3 面 【論説】協会活動は業界の夢づくり！
【緑滴】低山歩きのすすめ 山口昌宏
- 4 面 【総・支部だより】
東北・群馬・静岡県支部／【事務局の動き】

全国『みどりの愛護』の集い 山口県 維新百年記念公園で開催



山口県警察音楽隊によるウェルカム演奏



維新百年記念公園の植樹祭会場

第 19 回全国『みどりの愛護』の集いが国土交通省、山口県などの主催で 4 月 19 日、山口県山口市の維新百年記念公園で、皇太子殿下のご臨席のもと、当協会からは佐藤四郎会長ほか関係者が出席するなど、約 1800 名が参加し、盛大に行われた。

式典では、冬柴鐵三国土交通大臣が、「今回の集いをきっかけに緑化運動の輪がさらに広がることを期待したい」とあいさつ。

皇太子さまは、「都市緑化は、温暖化対策全体の普及啓発としても大きな効果が期待されるものです。全国から参加された皆さんが相互交流を深め、緑豊かで快適な生活環境づくりが一層発展することを願います」とお言葉を述べられた。

また、式典の後、皇太子さまは、公園内を散策され、地元小学生のサッカーの練習風景などをご覧になり、記念植樹では、山口市の天然記念物であるヤマザクラを植えられた。

春の褒章・叙勲 当協会から 4 氏が受章

平成 20 年春の褒章、叙勲受章者が発表され、当協会からは黄綬褒章を笹本知氏（62）（株北海道造園コンサ

また、叙勲は、旭日双光章を鈴木一松氏（71）（株みやした園芸社長・神奈川県横浜市）、松本孔志氏（73）（安行造園（株）社長・埼玉県川口市）、がそれぞれ受章された。

なお、褒章伝達式は 5 月 16 日国土交通省本省で、叙勲伝達式は 5 月 9 日グランドプリンスホテル赤坂で行われる。

平成 20 年度全国都市公園・緑化・緑地保全 主管課長会議を開催

国土交通省都市・地域整備局公園緑地課は 4 月 17 日、平成 20 年度全国都市公園・緑化・緑地保全主管課

緑地保全 主管課長会議を開催

樹林

「BE-PAL（ビーパル）」とはどういう意味か？ という問い合わせをたびたびいただく。

「Be friend with nature.（つまり『自然と仲良くしよう』というテーマを誌名にしたものです）」

と答える。PAL はベンパルなどを使う、仲間、という意味だ。

「ご存知ない方もいらっしゃるだろうから、宣伝させていただくと、BE-PAL は、雑誌である。毎月 10 日発行の月刊誌。お陰様で 6 月 10 日の発売号で 28 年目に突入する。自然の中の遊びやアウトドアライフの楽しさを伝えてきた。」

1981 年の創刊当初は「軟弱だ」「自然はそんなに甘いものではない」などなど、その筋の専門家の方々から、

後ろ指をさされたという。

当時の日本のアウトドアライフといえば、山岳部に代表されるヨーロッパ型のアルピニズムが主流で、クルマに便利な道具を満載して出かけるキャンブや、お気軽なバーベキューなどはそれこそ軟弱な遊びに見えただろう。

しかし、まずは自然の中に出てみる

経験の有無で
何かが違う

まずは自然の中へ出かけてみよう

月刊誌『BE-PAL（ビーパル）』編集長 酒井直人



ことよって見えてくるものがあるのも事実。この『まずは出てみる』ことへの誘いが、大事なのではないだろうか。

こういう行動力に関しては、なぜか

女性の方が、アクティブのように感じる。

編集部に入ってくる問い合わせで

も、「富士山に登りたいが、誰か一緒に登ってくれる人を紹介してくれ」屋久島に行きたいが、どこで道具を揃えればよいか」などなどの質問がくる。

男性の、この手の質問は皆無といっ

ていい。自然の中で過ごすことへの希

求は女性の方が強いということかもしれ

ない（男性は質問が苦手なだけかも

雨具、テント、靴（サンダルや長靴

がある。

面白い動機からアウトドアライフに目覚める人たちの多い。ここ数年で顕

著なのは、「夏フェス」人気だ。

も含める）などなどは、とくに機能に差が出るのでわかりやすいのだ。

そこで、アウトドア・ショップに出

入るようにになり、ウェアや道具を揃えるようになっていく。

個人的には、どんな動機から、自然

のすばらしさに気づいてもいいと思っ

かけてみるのが大事なのだ。最小の道具で旅することも素敵だし、クルマに家財を積んでのキャンブも否定しない。アウトドアで遊ばなくなってきたていきけるのだが、アウトドアでの遊びを経験しているのとしていないのとは、何が違う。温暖化などの環境問題を考えるときにでも、何が違うはずなのだ。

アメリカの国立公園の父と呼ばれたジョン・ミューアという人がこう

いう意味合いの言葉を残している。

「自然の中で楽しく過ごして、その

大事さに気づいた人が、自然を大切に

残していく」

これが、自然保護の原点ではないだ

ろうか。

今年も、アウトドアへ出かけるのに

いいシーズンがやってきた。多くの人

の上に、自然を大切にするための気づ

きがありますように！

お知らせ

平成 20 年度
通常総会
講演会・懇談会

6 月 24 日（火）
14:00 ～
ルポール麹町
東京都千代田区平河町 2-4-3
☎ 03-3265-5361

~~~~~  
多数の会員の皆様の  
ご参加をお待ちしています

## 造園 CPD 会員の募集開始

造園技術者の能力向上と客観的評価の指標となる「造園 CPD（継続教育）制度」の会員募集が始まりました。  
日造協を通して入会を希望される方は、ホームページの案内に従いお申込み下さい。

申込期間は平成 20 年 5 月 19 日（月）～ 6 月 6 日（金）まで

ト」として、新規事項である①「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園（仮称）」の整備

着手②歴史・文化資産を保全活用したまちづくりを推進するための都市公園事業

の拡充③省 CO2 型都市の実現のための緑地環境整備

総合支援事業の拡充④地震に強い都市づくりのための

防災公園の整備推進⑤都市公園バリアフリー化緊急支援事業の創設についての説

明に加えて、国営公園の入園料に係る制度の充実等につ

いて解説するなど、さまざまな都市公園・緑化・緑地保全事業についての説明

が行われた。



締結15点、会計監査人の設置20点となっている。



【論説】

協会活動は業界の夢づくり！

1971年（昭和46年）の建設業法の改正によって、造園工業は独立した業種となりました。その年、社団法人日本造園建設業協会が誕生しました。

日造協は、定款の目的に「造園技術の向上、造園事業の健全な発展を図り、もって都市環境の整備促進、都市緑化の推進等に寄与すること」を掲げ、この趣旨に賛同した発足時の会員数は、436社でした。

平成9年には、1611社と最多数を記録しましたが、この数は全建設業のうち

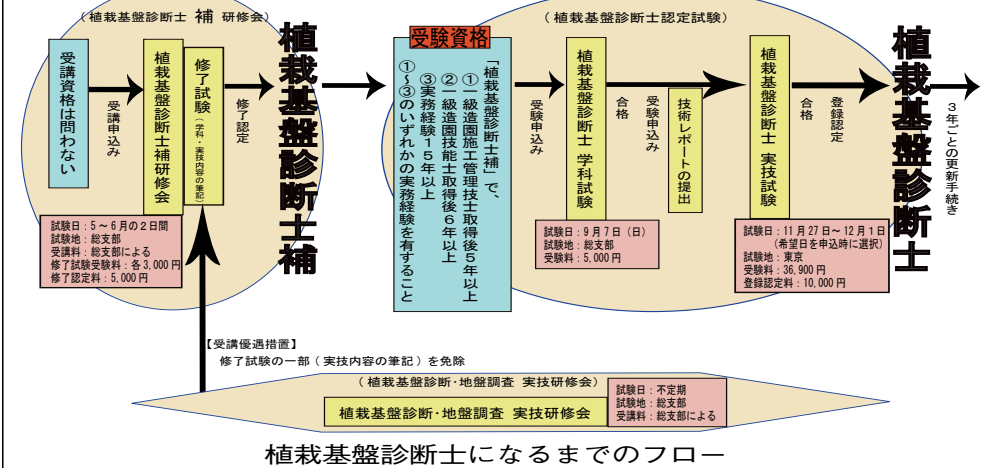
ち造園事業者が3万6千社と推計されている数字と比べると約4%に、また、各都道府県の造園建設業協会の会員約5千社の約30%でしかないのです。

建設業法には、土木工業、建築工業、電気工業など28種の建設工事が位置付けられており、それぞれの工事を請け負う営業を建設業としています。

建設業法には、土木工業、建築工業、電気工業など28種の建設工事が位置付けられており、それぞれの工事を請け負う営業を建設業としています。

ここに位置付けられた建設業は、それぞれが業界として結束し、業団体を構成

業団体活動は、目の前の仕事の受注に対して活動するものではなく、同種企業が結束して、業界に対する理解と信頼を、世論（社会



「植栽基盤診断士」研修会・試験の日程決まる

|        | 植栽基盤診断士補研修会                 | 植栽基盤診断士認定試験                                                                                                              |                                      |
|--------|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
|        |                             | （学科試験）                                                                                                                   | （実技試験）                               |
| 試験日    | 5～6月の2日間<br>総支部により開催日が異なる   | 9月7日（日）<br>14：00～16：30（予定）                                                                                               | 11月27日（木）～12月1日（月）<br>希望日を選択         |
| 会場     | 各総支部（全国10会場を予定）<br>どなたでも受講可 | 各総支部（全国10会場を予定）<br>「植栽基盤診断士補研修会」の修了認定者<br>で以下のいずれかの実務経験を有すること<br>① 1級造園施工管理技術士取得後5年以上<br>② 1級造園技能士取得後6年以上<br>③ 実務経験15年以上 | 東京都（国営昭和記念公園）<br>「植栽基盤診断士（学科試験）」の合格者 |
| 受講・受験料 | 総支部により異なる                   | 5,000円                                                                                                                   | 36,900円                              |
| 申込期間   | 総支部により異なる                   | 7月22日～8月22日（消印有効）                                                                                                        | 9月22日～10月31日（消印有効）                   |
| 申込方法   | 開催総支部へ                      | 申込書は申込期間になると日造協のホームページからダウンロードできます                                                                                       | 申込書は申込期間になると日造協のホームページからダウンロードできます   |

に、発注者にとっていただくための活動であり、その中に、将来にわたって夢の持てる安定した業環境をつくりあげていくために必要な事業領域の拡大を目指す活動、健全な企業経営が実践できる環境づくりを目指す活動、さらには、企業の地位向上を目指す活動など、個々の企業だけでは達成できない諸課題についての業界向上を目指すための活動があるのです。

景気拡大期が戦後最長とされる中、公共部門においては、財政再建に取り組み、建設投資の削減が続く、公共投資への依存率の高い建設業にとっては、非常に厳しい状況が続いています。

業として扱われることになったのです。それが、造園という分野への理解と認識につながり、今日のように造園工事への分離発注も進み、造園工業が元請として、実力を発揮できるケースが増えてきました。

指定業種としての独自性

建設業法で、造園建設業が指定業種になったことによって、造園建設業界は、建設業としての社会的責任と経営の向上に、独自の責任において取り組まねばならなくなったのです。他建設業に遅れをとってはなりません。

誰かがやってくれるだろうなど、他人任せになど出来ません。目下展開されている入札・契約制度改革を含む緊急公共工事品質確保対策などにおいても、他建設業の中に埋没しないために、造園建設業界としての声を発信し続けなければならないのです。

造園領域の拡大を推進

「環境の世紀」、「みどりの世紀」といわれる21世紀にこそ、このような活動を展開することによって、従来からの公園緑地事業をはじめとして道路、河川、港湾、学校、さらには民間プロジェクトの場においても、造園技術を生かせる領域の拡大を進めなければなりません。また、それを造園建設業として受け止める実力（技術力、企業力）を育まなければなりません。

造園業界として声を

このような時、それぞれの建設業界においては、協会活動として結束を強め、この苦境を乗り切るだけでなく、将来への布石を打つ活動を展開しており、造園建設業も他建設業に負けてはいられない状況です。

造園建設業界として、声を出していかなければ、造園建設業の埋没につながってしまいます。

先人たちの大変な苦勞によって勝ち得た昭和46年の建設業法の改正による造園建設業の独立、それが以前の状況に逆戻りしてしまうことになりかねません。

造園工業が独立した業種となったことによって、造園工業も一人前の建設

### 低山歩きのすすめ

学生時代は山岳部に在籍していたので、思いついたらすぐに実行に移せる。休みの日の朝、天候を見てから決めても遅くはないのだ。

そして、こころは、自分の誕生日と同じ山に登ることになっている。誕生日は1月。山は標高859mの養老山だ。そう、滝の水が、お酒になった養老の滝の源です。

社会人になってからは、仕事と時間に追われ、山登りからはすっかり遠ざかっていったが、年齢を重ねてまたまた虫が起こってきた。

当時とは体力も気力も衰えているので、当然対象となる山もそこ辺りの低山である。

冬の晴れた日なら眼下に広大な濃尾平野が望め、掛斐、長良、木曾の三天河川が大きくうねって伊勢湾に注ぐ。その向こうには、ビルの林立する名古屋の市街が見え、遥かに御岳、乗鞍、中央アルプス、南アルプスが真っ白い峯を連ねる。

まさに、この風景が私を待っていたのだと、一人感動に浸る至

山口 昌宏（株岐阜造園）

new !!

2種類のチップが作れます！  
粉碎チップは吸水・通気性バグゲン！  
音は静かでコンパクト！

KYB 株式会社  
特装車両事業部 営業部 TEL (03)3435-3591  
〒105-0013 東京都港区浜松町2-1-17 松永ビル8F  
FAX (03)5472-6579 http://www.kyb.co.jp/



# 技術研修会を開催

## 新分野の足掛かりに

### 東北総支部

東北総支部では、3月15日、会員を対象に技術の向上、造園工事業の発展を目的に技術研修会を開催したので報告します。

研修会は、当総支部の一大事業として毎年開催しており、今年は4つの講演が行われました。

「地域性を考慮した景観

を中心とした景観構成をフ

「道草請 あれこれ」は、大泉紀男氏（㈱片平エンジニアリング特別技術顧問）が、家畜（ヤギ）を使った緑化維持管理などの珍工法から、食の安全・安心を考えた地産地消の新産業などの紹介を行いました。

「新緑化技術と商品の現

の起源があり、ヨーロッパスタイルによる花と緑の園芸技法です。

それはあたかもモザイク画の技術に良く似ています。その作品はとっても小さいけれど、多くの色を使

### 静岡県支部

## モザイカルチャーをご存知ですか

2009年3月の富士山静岡空港の開港にあわせて静岡県では、造園に関連する国際イベントが開催されます。同年4月下旬から10日間の予定で開催される「ワールドガーデンコンペ

「道草請 あれこれ」は、大泉紀男氏（㈱片平エンジニアリング特別技術顧問）が、家畜（ヤギ）を使った緑化維持管理などの珍工法から、食の安全・安心を考えた地産地消の新産業などの紹介を行いました。

また、研修会後は、会場を移し懇談会を開催。公共事業が減少している現在の厳しい状況を受け止め、業界が一段と結束を図り、本



研修会の様子

# 第25回全国都市緑化

## ぐんまフェア開催中

### 群馬県支部

第25回全国都市緑化ぐんまフェアが3月29日に開幕しました。

「花と緑のシンフォニー

市、そして一般会場が各市町村や各種団体等からなる155カ所という県下総参加による展開で、入場無料が特徴です。

モザイカルチャー世界博2009宣伝用ディスプレイとして、5月2日に除幕式が行われました。

静岡県支部では、浜松市からの要請を受け、本部の協力のもと、花苗の育成から鉄骨フレームの製作等モザイカルチャー全体の技術協力をしております。

来る、2009年9月には、全国会員の皆様のご来場をお待ちしております。



さちの池俯瞰（前橋公園）



ばら園を望む（敷島公園）

の海」などの八景にして紹介する「まほろば八景」や自治体出展花壇、力作が揃っていると好評の企業出展庭園、そして臨江閣（県指定重要文化財）等で賑わいと安らぎにあふれた交流

「敷島公園」…ぐんまフェアの開催に合わせユニバーサルデザインに配慮して全面改装を行った600品種、7000株のバラが、そして華やかな花壇の彩りが来場の皆様をお待ちしています。本号を読まれる頃

はバラの花が最盛期を迎えていると思います。

高崎会場は「文化」をテーマに掲げ城址公園をコアに、隣接する中心市街地を緑化フェア会場とした過去に例のない「まちなか会場」の取り組みが注目されています。「駅を降りたらフェア会場」をコンセプトに市街地回遊性を高め、新たな都市景観を生み出す大きな社会実験です。フェア後に市街地活性化へとつながることを願っています。

太田会場は「環境×身近な緑の再発見・自然の記憶

の再生×里山と環境教育」をテーマに北部運動公園で開催中。芝桜、ツツジ、桜など、たくさん花や緑で彩られた会場で多彩なイベントを実施。特別展示として、世界らん展のディスプレイ審査部門最優秀賞作品やサウンドオブジェを展示。会員のナーセリー（農場）も一般開放し、民間サテライト会場（155カ所）の一つとして活用。広大な農場での「森林浴」や「こどもの教育の場」として利用していただけるようになっています。

メインの会期は3月29日から6月8日までの72日間ですが、サテライト会場として一般会場ではリレー方式で、年を通して開催されます。

全国各支部の皆様をはじめ多数の方々のご来場をお待ち申し上げております。

（支部長・山田 忠雄）

## 事務局の動き

### 【4月】

3(木) 公園緑地功労賞選考委員会

・市民と公園・公園と管理オーブンシンポジウム（熊本市）

7(月) 「広報日造協」編集会議

8(火) 造園CPD協議会

10(木) 建設系CPDシステム部会

11(金) 入札契約制度対応分科会

12(土) 全国都市緑化祭

17(木) 全国公園緑地担当課長会議

・経済調査会と情報交換会

18(金) 造園技能承継モデル事業報告会

19(土) 第19回全国「みどりの愛護」の集い（山口市）

24(木) AIPHスプリングミーティングブダペスト（ハンガリー）

### 【5月】

8(木) 運営会議

12(月) 造園ものづくり意見交換会

・建築教育の需給構造と建築職能の将来像に関する特別研究委

22(木) 事業委員会（在京）

員会

13(火) 四国総支部研修会

20(火) 総務委員会財務部会

・日本造園建設業厚生年金基金代議員委員会

24(土) 造園学会全国大会

27(火) 総務委員会（全国）

29(木) 技術委員会（在京）

## 総・支部だより

各総支部・支部からの記事を紹介します



製作中の作品工程（上から）①デザイン画（デザイン・小倉珠子氏）の張り付け・軽量土壌の詰め込み ⑤花苗（プラグ苗）の植え込み

②花苗の育成

③鉄骨フレームの製作

④灌水装置の設置・カンレイシャ